

1. 第9期(2019年7月~2020年6月)事業報告・決算報告・監査報告

事業報告

1993年6月5日にMELONが設立され、27年目の事業を終了しました。公益財団法人に移行してからの事業期も第9期を終えました。第9期の途中からは新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、活動の自粛や新しい生活様式への対応などが求められ、方策を模索しながらの活動となりました。

ストップ温暖化センターみやぎにおいては、宮城県から委託事業3件、補助事業1件を受託し、一般社団法人地球温暖化防止全国ネット経由の環境省補助事業を1件受託しました。中でも気候変動適応推進事業は県の新たな事業として今期から始まったもので、CO₂を削減する省エネ等の緩和策に加えて、防災や熱中症対策など気候変動に対応する適応策を推進する事業です。適応策に関する認知度の向上及び地域からの適応策の推進を図るため、サイエンスカフェやシンポジウム、ワークショップを行いました。

環境省からの請負事業「東北環境パートナーシップオフィス(EPO 東北)運營業務」は2010年度からの請負期間が10年目となりました。運營業務に含まれる東北地方ESD¹活動支援センター業務も2年目となり、全国とのネットワーク構築を本格化させています。

継続しているキリバス共和国関連の事業では、キリバス環境出前講話を14校の学校で実施し、今後も一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏との協力により、啓発動画作成などの事業を広げていく予定です。

MELON情報センターではSNSの有効活用を検討し、4月からFacebook、Instagramでの情報発信を開始しました。また昨年に引き続き環境紙芝居の上演やラジオ出演による活動の広報など、多角的な活動を行いました。

部会・プロジェクトの活動では、各種環境市民講座の開催、12年目となる「水の神さまプロジェクト」による水文化調査の継続、好評の「仙臺農塾プロジェクト」や「オーガニック・ウィーク仙台」の実施、海洋ごみの調査・削減活動の継続、事務局サロンスペースでのプチ講座、事業者向け自然エネルギー活用講座、薪・ペレットストーブの普及啓発イベント、プロスポーツ団体と連携した環境活動など、会員・県民に向けて多様な活動を行いました。

また、上記活動と並行して、第10期に向けてより有効な活動内容・計画の立て方の見直し、持続可能な社会を実現するためのSDGs²の実装に向けた内部勉強会などを行いました。

MELONの活動のあり方、体制や財政の見直し等を検討した「組織基盤強化プロジェクト」に基づいて設置した3つの委員会(財政健全化委員会、企画検討委員会、政策提言・広報委員会)での議論は、財政改善、政策提言、部会の自主運営等にある程度内容がしぼられてきたことから、委員会の再編を検討中です。

¹ ESD : (Education for Sustainable Development) 環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む(think globally, act locally) ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動のこと。

² SDGs : (Sustainable Development Goals) 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。

I. 第9期の重点課題に関する活動報告

1. パリ協定に基づく地球温暖化対策の取り組み

温室効果ガス排出量の削減目標(2030年度に2013年度比26%削減)を達成するために、学校でのキリバス環境出前講話や一般向けCOP25報告会、家庭での省エネを促すうちエコ診断活動や気候変動適応策の理解を深めるシンポジウムなど幅広い普及啓発活動を行いました。

2. SDGs

活動の中で、具体的に SDGs のどのゴールをどう目ざしていくのかを考えていくために、まず SDGs を学び理解を深めるための事務局内研修を行いました。今後、その学びを活動の中に生かしていく予定です。

3. マイクロプラスチックなどの海洋ごみ問題

海洋ごみ問題について地球環境基金助成金を獲得し、セミナー開催による情報発信・普及啓発と荒浜を中心とした調査活動を行いました。

4. 自然エネルギーを中心としたエネルギーシフト

エネルギー問題に関する情報収集を行い、公益財団法人自然エネルギー財団との連携によるセミナーの開催や、環境省大臣官房環境影響評価課への太陽光発電の環境配慮ガイドライン(案)への意見書の提出を行いました。

5. 水道民営化問題

水部会において検討し、9月に「宮城県上工下水一体官民連携運営事業実施方針(素案)」に係る意見書を宮城県企業局水道経営課に提出しました。

6. 政策提言

政策提言スキームに基づき、毎月、政策提言委員会委員にパブリックコメント等の情報を送信し意見提出について検討した結果、第9期は2件の意見書を提出しました。

【3年間の実績】

【表1】

	第7期(2017年7月～2018年6月)	第8期(2018年7月～2019年6月)	第9期(2019年7月～2020年6月)
会員数	606(入24・退56)	579(入20・退47)	543(入12・退48)
経常収益	65,343,888円	62,400,086円	54,364,489円
経常費用	64,510,165円	59,348,146円	53,291,472円
当期経常増減額	833,723円	3,051,940円	1,037,017円
一般正味財産期首残高	2,803,880円	3,565,603円	6,545,543円
一般正味財産期末残高	3,565,603円	6,545,543円	7,546,560円
基本金(指定正味財産)	45,546,958円	45,546,958円	45,546,958円
新たな事業・活動	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県委託事業として「地球温暖化防止活動推進員新規募集養成研修業務」「地球温暖化防止対策普及啓発事業」を受託 ・EPO 東北内に「東北地方ESD 活動支援センター」を設置 ・「宮城県地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(中間案)に対する意見書」を提出 ・「宮城県再生可能エネルギー・省エネルギー計画」に対する意見書」を提出 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織基盤強化プロジェクトに基づく専門委員会(財政健全化委員会、企画検討委員会、政策提言・広報委員会)を理事会の下に設置 ・マイクロプラスチックを中心とした「海洋ごみ」に関する海岸調査・セミナーの開催 ・環境省に「プラスチック資源循環戦略(案)に対する意見書」「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略(案)に対する意見書」を提出 ・仙台市に「地球温暖化対策を推進するための条例のあり方(中間案)に対する意見書」を提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県委託事業として「気候変動適応推進事業」を受託 ・Facebook、Instagramによる情報発信を開始 ・環境省に「太陽光発電の環境配慮ガイドライン(案)への意見書」を提出 ・宮城県に「宮城県上工下水一体官民連携運営事業実施方針(案)に係る意見書」を提出

II. 主催イベント報告

上記の重点課題を柱に各部会・プロジェクト等が中心となって各種イベントを開催し、のべ12回、1,101名の参加となりました。

【表2】

	日時	タイトル	場所	講師	担当部会	参加者数
2019年						
1	9月10日 10:00～12:00	プラスチックの海洋汚染削減セミナー	七ヶ浜町生涯学習センター	高田秀重氏(東京農工大学農学部教授)	4R推進部会	60
2	9月28日 13:30～16:00	第24回会員と市民のつどい MELON フェスタ	エル・パーク 仙台	—	MELON事務局	97
3	11月9日 10:00～11:45	杜の都の公園探検隊！ ～in 台原森林公園～	台原森林公園	村上孝夫氏 (日本薬用植物友の会)	里山応援団	17
4	11月16日 13:30～15:30	MELON cafe プチ講座 「空きビンのリメイク♪ ガラスエッチング」	MELON事務局	MELONcafe 企画部	MELON cafe	4
5	11月20日 10:00～13:00	仙臺農塾 Vol.8 第1回 「ロングトレイルでみやぎの 秋鮭に出会う会」	みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター	佐藤将人氏 (日本料理人)	食部会	10
6	11月21日 13:00～15:30	未来のために今はじめよう！ 気候変動適応策！	仙都会館	鈴木智恵氏(気象予報士・防災士) 金鋼一氏(東北地方環境事務所)他	ストップ温暖化センター	50
7	12月15日 10:30～11:30	環境アクションウォーク	青葉通り駅 ～五橋公園	—	ストップ温暖化センター	9
8	12月21日 18:30～19:30	環境 Cafe	セガフレード・ザネットィ・エスプレッソ五橋公園店	ケンタロ・オノ氏 (日本キリバス協会代表理事)	ストップ温暖化センター	15
2020年						
9	1月25日 13:30～14:30 15:00～16:00	ネイティブと英語で学ぶ環境学習 13:30 子ども向け 15:00 一般向け	名取市図書館	ショーン・ローラー氏 (カナダ林産業審議会)	ストップ温暖化センター	26 22
10	2月1日 13:30～15:15	COP25 報告会 in 仙台	国際センター駅 「青葉の風テラス」	岡野泰士氏(環境省地球環境局) 平澤拓海氏(東北大学工学部3年)	ストップ温暖化センター	71
11	2月15日 10:00～15:00	木を使って森を元気に！ 薪ストーブ・ペレットストーブ 展示・体験フェスタ	勾当台公園市民広場	—	里山応援団	700
12	2月28日 19:00～21:00	仙臺農塾 Vol.8 第2回 「データに見るオーガニック の現状」	居酒屋 仙きち	谷口葉子氏 (宮城大学食産業学群准教授)	食部会	20

III. 活動内容ごとの報告

テーマごとに会員・他団体等と連携し積極的な活動を展開しました。

各部会・プロジェクトにおいて、例年通りの活動を継続するとともに、自主運営の方針に基づき今後のあり方を議論しました。（詳細は「活動資料」を参照。）

1. 情報センター・部会・プロジェクトの活動

情報センターでは、SNS の活用による新たな情報発信の他、環境紙芝居の上演など多角的に環境情報の発信を行いました。

各部会・プロジェクトは、タイムリーで有意義なテーマ・内容の講演会、観察会、普及啓発イベントなどを企画・開催しました。

2. 行政・他団体とのパートナーシップ等の活動

- (1) ストップ温暖化センターみやぎ（宮城県地球温暖化防止活動推進センター）
ストップ温暖化センターみやぎでは、「地域における地球温暖化防止活動促進事業」「うちエコ診断実施支援事業」「地球温暖化防止対策普及啓発事業」「気候変動適応推進事業」「地球温暖化防止活動推進員新規募集養成研修業務」を実施しました。また、地球温暖化防止活動推進員と協力して地域イベントへの出展等を行いました。
- (2) EPO 東北（東北環境パートナーシップオフィス）
請負による運営が 10 年目となった EPO 東北では、東北 6 県の環境団体・自治体の中間支援を中心に、ビジターセンター交流会、みちのく薪びと祭り、地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業、東北 ESD フォーラムなど多彩な事業を推進しました。
- (3) 行政・他団体の審議会などへの委員派遣等

【表 3】

国	東北地方気候情報連絡会委員、東北地域エネルギー・温暖化対策推進会議構成員
宮城県	環境審議会委員、「ダメだっちゃ温暖化」みやぎ県民会議委員、みやぎ復興住宅整備推進会議委員、宮城県再生可能エネルギー等・省エネルギー促進審議会委員
仙台市	環境審議会委員、E-Action 実行委員会委員、環境配慮事業者認定委員会委員、アメニティせんだい推進協議会委員、廃棄物対策審議会委員、杜の都の市民環境教育・学習推進会議委員、仙台プロスポーツネット幹事、公園緑地協会評議員、土地利用調整審議会委員、仙台市食育推進会議委員
他市町村	大崎市バイオマス産業都市構想検討委員会委員、多賀城市環境審議会委員
他団体	特定非営利活動法人 気候ネットワーク理事・運営委員、仙台広域圏 ESD・RCE 運営委員会委員、消費者行政の充実強化をすすめる懇談会みやぎ委員

(4) 共催・名義後援

【表 4】

	開催日	名称等	内容	主催
2019 年				
1	9 月 15 日	りふ環境まるごとフェア 2019	名義後援	りふ環境まるごとフェア実行委員会、利府町
2020 年				
2	2 月 27 日	ごみ減量自治体会議 in 東北	共催	大阪ごみ減量推進会議

(5) 講師派遣

【表5】

	実施日	内容	対応者	主催
2019年				
1	7月23日	海洋ゴミのアクセサリ作り ワークショップ	MELON cafe 企画部	葛岡リサイクルプラザ
2	7月25日	海洋ごみのゆくえ	MELON cafe 企画部	仙台市消費生活センター
3	7月28日	海洋ゴミのアクセサリ作り ワークショップ	MELON cafe 企画部	仙台市
4	9月7日	マイクロプラスチックの 海洋汚染について	菅田華江事務局員	登米市
5	11月6日	スポーツにおけるプラスチック スマート	山形裕昭事務局員	東北大 SDGs シンポジウム
6	11月15日	第8回ごみ集積所美化 コンテスト認定書交付式 及びごみ3R講座	4R推進部会 (根岸誠氏)	塩竈市
7	11月29日	地球温暖化対策の 取り組みについて	小林幸司 事務局統括	東北都市環境問題 対策協議会
8	11月30日	温暖化防止と自分流エコライフ ソーラーランタンづくり	菅田華江事務局員	青空エコカフェ
2020年				
9	1月17日	地球温暖化の現状と取組み	吉田美緒事務局員	NTT 退職者の会 太白地区協議会
10	1月25日	台所からのエコライフ ～地球温暖化防止＆「おくるみち ゃん」で保温調理～	菅田華江事務局員	青空エコカフェ
11	2月23日	仙台市のプラごみの状況等	4R推進部会 (根岸誠氏)	広瀬川1万人プロジェク ト実行委員会

(6) 政策提言・意見発表等

【表6】

	提出日	内容	提出先
2019年			
1	9月30日	「宮城県上工下水一体官民連携運営事業実施方針(素案)」に係る意見書	宮城県企業局水道経営課
2020年			
2	1月22日	太陽光発電の環境配慮ガイドライン(案)への意見	環境省大臣官房環境影響 評価課

(7) 他団体主催イベント・企画の協力等

【表7】

	開催日	名称等	参加内容	主催団体
2019年				
1	7月14日	学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ2019	ストップ温暖化センターみやぎが推進員と講座型イベント実施	特定非営利活動法人 natural science
2	8月3日	エコチャレンジフェスタ in ユアスタ仙台	ストップ温暖化センターみやぎが企画・運営	宮城県
3	8月5日	仙台七夕前夜祭花火大会	エコシティ仙台プロデュースプロジェクトが有料観覧席のエコステ運営	公益社団法人 仙台青年会議所
4	8月15日	エコチャレンジフェスタ in 楽天生命パーク宮城	ストップ温暖化センターみやぎが企画・運営	宮城県

5	8月20日	水道フェア	水部会がブース出展	仙台市水道局
6	8月24日 ～25日	史都多賀城環境グルーブ フェス	ストップ温暖化センターみやぎがブース出展	多賀城市
7	9月1日	エコフェスタ 2019	ストップ温暖化センターみやぎ、4R推進部会がブース出展	アメニティ仙台推進協議会
8	9月7日	仙台長町紙芝居フェスティバル	情報センターが紙芝居上演	仙台長町紙芝居フェスティバル実行委員会・長町まざらいん
9	9月8日	第7回はやぶさま祭り	ストップ温暖化センターみやぎがブース出展	はやぶさま祭り(宇宙っ子科学屋台村)実行委員会
10	9月14日	魅力いっぱい！交通フェスタ 2019	ストップ温暖化センターみやぎがブース出展	仙台市都市整備局
11	9月15日	りふ環境まるごとフェア	ストップ温暖化センターみやぎ、情報センターがブース出展	利府町
12	9月20日	サイエンスカフェ 暮らしの電気から考える！ 気候変動適応策！	ストップ温暖化センターみやぎが企画・運営	宮城県
13	11月2日	環境フェア 2019 いしのまき	ストップ温暖化センターみやぎがブース出展	石巻市
14	11月3日	2019 ふるさと名取秋まつり	ストップ温暖化センターみやぎがブース出展	名取市
15	11月21日	未来のために今はじめよう！ 気候変動適応策！	ストップ温暖化センターみやぎが企画・運営	宮城県
16	12月5日	自然エネルギー活用セミナー ～気候変動時代を生き抜くために～	ストップ温暖化センターみやぎ・自然エネルギー等普及プロジェクトが企画・運営	宮城県
17	12月7日	環境フォーラムせんだい 2019	ストップ温暖化センターみやぎ、情報センターがブース出展	FEEL Sendai
18	12月8日	サイエンスカフェ ～考えていますか「適応策」のこと～	ストップ温暖化センターみやぎが企画・運営	宮城県
2020年				
19	1月18日	実践力を身につけよう！ 気候変動適応策ワークショップ！ (多賀城市)	ストップ温暖化センターみやぎが企画・運営	宮城県
20	2月1日	実践力を身につけよう！ 気候変動適応策ワークショップ！ (大河原町)	ストップ温暖化センターみやぎが企画・運営	宮城県
21	2月12日	「ダメだっちゃ温暖化」宮城県 民会議フォーラム 地球のために、宮城から みやぎ環境フェスタ	ストップ温暖化センターみやぎが企画・運営	宮城県

3. 第24回 MELON 会員と市民のつどい

「第24回 MELON 会員と市民のつどい MELON フェスタ」は、会員と役員や会員同士の交流を目的としたイベントとして2019年9月28日(土)に97名の参加で開催しました。エル・パーク仙台ギャラリーホールを会場とし、地元仙台を拠点に活動する歌手@なおポップのミニコンサートや学生サークル等の環境活動アピール、会員企業や各部会・プロジェクトのブース出展などを行いました。

4. 委託事業・助成金等

【表 8】

事業名	交付者	事業科目	事業期間
平成 31 年度東北環境パートナーシップオフィス運営業務	環境省	請負事業	2019 年 4 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日
令和元年度気候変動適応推進事業	宮城県	委託事業	2019 年 6 月 24 日～ 2020 年 3 月 24 日
令和元年度うちエコ診断実施支援事業補助金	宮城県	補助金	2019 年 7 月 9 日～ 2020 年 3 月 20 日
令和元年度地球温暖化防止活動推進員新規募集養成研修業務	宮城県	委託事業	2019 年 6 月 12 日～ 2020 年 1 月 31 日
令和元年度地球温暖化防止普及啓発事業	宮城県	委託事業	2019 年 6 月 19 日～ 2020 年 3 月 22 日
令和元年度仙台市消費者団体活動補助金	仙台市	補助金	2019 年 6 月 26 日～ 2019 年 3 月 20 日
令和元年度地域における地球温暖化防止活動促進事業	一般社団法人地球温暖化防止全国ネット	補助金	2019 年 6 月 6 日～ 2020 年 2 月 29 日
「Green Gift 地球元気プログラム」運営支援に関する委託契約	日本 NPO センター(東京海上日動火災保険株式会社)	委託事業	2019 年 10 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日
2019 年度地球環境基金助成金「宮城の浜の海岸ゴミを減らそうプロジェクト」	独立行政法人環境再生保全機構	助成金	2019 年 7 月 10 日～ 2020 年 3 月 31 日

IV. 評議員会、理事会、監事会運営

1. 評議員会 (3 回開催)

【表 9】

	日程	主要議題
2019 年		
第 1 回	8 月 26 日	第 8 期事業報告・決算報告および監査報告について、 役員の選任について他
第 2 回	12 月 2 日	第 9 期事業の進捗報告他
2020 年		
第 3 回	6 月 22 日	第 10 期事業計画案・予算について他

2. 理事会 (4 回開催)

【表 10】

	日程	主要議題
2019 年		
第 1 回	8 月 5 日	第 8 期事業報告・決算報告および監査報告について、 名誉理事創設について他
第 2 回	11 月 18 日	副理事長互選について、基本金定期運用について他

2020年		
第3回	4月20日	第10期事業計画第一次案について他 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため資料送付による報告のみとした。
第4回	6月8日	入退会等に関する規則の改訂について、第9期補正予算について、第10期役員会日程について、第10期事業計画第二次案・予算について他

3. 監事会（1回開催）

【表11】

	日程	主要議題
2020年		
第9期監事会	7月28日	第9期・理事の業務執行状況並びに決算について

3. 第9期末現在 MELON が加入している団体

【表12】

加入団体	加入形態	会費（口数）
認定 NPO 法人気候ネットワーク	正会員（団体）	50,000 円（10 口）
NPO 法人地球環境市民会議（CASA）	会員（団体）	10,000 円（2 口）
一般社団法人地球温暖化防止全国ネット	正会員	40,000 円（1 口）

V. 維持会員の状況および部会・プロジェクト、事務局体制、ボランティアスタッフの活性化について

1. 維持会員の状況

第9期末の会員数は法人58（入会0退会4）・任意団体10（入会1退会0）・個人475（入会11退会44）合計543となり、前期末からマイナス36となりました。入会は活動参加をきっかけに入会いただいた方が大半で、退会は高齢化や3年間会費未納で連絡つかない方が8割近くを占めています。

【表13】

会費の 納入状況	第9期の会費予算6,100,000円に対し、会費納入額6,145,000円となりました。
寄附の 状況	第9期合計で2,123,140円の寄附をいただきました。内訳は以下の通りです。 ◆ みやぎ生活協同組合からみやぎ生協 MELON 協力商品券売上による寄附額1,766,894円 ◆ 株式会社日専連ライフサービスから日専連 MELON 協力商品券売上とスマイルポイント社会貢献コースによる寄附額64,585円 ◆ 株式会社ウジエスーパーからレジ袋の売却益による寄附額251,000円 ◆ 事務局募金箱及び MELON フェスタお菓子コーナー寄附金による寄附額計4,861円 ◆ 個人10名から合計寄附額35,800円

3. 部会・プロジェクト体制について

第9期の部会・プロジェクトの長は下記の通りでした。

【表14】

部会・業務	部会長
ストップ温暖化センターみやぎ運営委員会	長谷川公一
情報センター運営委員会	石垣政裕
水部会	高橋春男
食部会	冬木勝仁
4R推進部会	篠原富雄
MELON cafe	なし
自然エネルギー等普及プロジェクト	新沼慎二
みやぎ里山応援団	今野勇
エコシティ仙台プロデュースプロジェクト	村松淳司
エコ住宅部会	村松淳司

4. 事務局体制について

みやぎ生活協同組合、宮城県農業協同組合中央会、宮城県漁業協同組合、宮城県森林組合連合会、協同組合日専連仙台の事務局体制には変わりありません。

事務局長を除いた専任事務局スタッフは、当初スタッフ13名でスタートし、期中に2名退職、4名雇用で、現在スタッフ15名となっています。

5. ボランティアスタッフの活性化について

(1) 「ボランティアポイント制度」

ボランティアスタッフの活用に必要な条件整備の一環として、2003年度6月より導入した本制度（MELONの活動にボランティアとしてご参加いただいた会員の皆様に活動参加の実費の一部補填する意味で、1回のボランティア参加に1個のスタンプを押し、スタンプが5個たまった時点で1,000円分のMELON協力商品券と交換するもの）を第9期も継続運用しました。

● 第9期ボランティアポイント制度の活用状況

スタンプ5個到達枚数（MELON商品券交換数） 64枚（第8期59枚）

スタンプ5個到達者数（同一人物が何回到達しても1人と計上）28人（第8期26人）